

No.598

JULY
2026



はげまし

For the Riot Policemen
& Members

一般社団法人 機動隊員等を励ます会



警視庁機動隊観閲式 女性警察官特別機動隊

CONTENTS

- | | |
|----|---------------------|
| P2 | 第53回 定時総会・本部激励会 |
| P2 | 機動隊員等を励ます会 理事・監事 一覧 |
| P4 | 警視庁機動隊観閲式 |

- | | |
|------|------------------|
| P4 | ゴールデンウィーク警備 |
| P5 | 宮崎第一機動隊長へのインタビュー |
| P6-8 | Member's Lounge |

第53回(2026年度) 定時総会・激励会

去る6月3日、当会の第53回定時総会・激励会を明治記念館にて開催した。今回の定時総会にてすべての理事・監事が任期満了となることから、2028年6月までを任期として新たに理事・監事が選任された。また定時総会の終了後には、会員と機動隊員とが交流する激励会が行われた。警察庁長官、警視総監以下、警察幹部や現役の機動隊員が多数参加し、盛大な会となった。

定時総会

定時総会では、前号の『はげまし』に掲載したとおり、第1号議案「2025年度事業報告及び収支決算」、第2号議案「2026年度事業計画及び収支予算」が原案どおり承認された。

第3号議案「理事及び監事の選任」においては、本部と支部をあわせて理事の重任25名、新任5名、監事の重任2名の選任案が承認された。新任理事は高野賢一氏、橋山卓弘氏、村上孝一郎氏、高野次郎氏、岡谷健広氏の5名。

議案の審議後は、会員継続30年となる永年功労賞の感謝状贈呈が行われた。法人会員の株式会社廣澤精機製作所殿、株式会社葉山国際カンツリー倶楽部殿、広沢土地倉庫株式会社殿、特別個人会員の平渡彰仁殿が紹介され、総会に出席していた葉山国際カンツリー倶楽部の池田雄二殿に感謝状が贈呈された。

なお、総会後は第440回理事会が開催され、中村真一理事長、右田彰雄副理事長、廣瀬孝副理事長、伊澤昭則常任理事を継続とする選任案が承認された。



定時総会にて議事を進行する中村理事長



感謝状贈呈



総会の様子

一般社団法人 機動隊員等を励ます会

理事・監事

●2026年7月1日現在



理事長
中村 真一
日鉄物産(株)



副理事長
右田 彰雄
日鉄ケミカル&マテリアル(株)



副理事長
廣瀬 孝
日本製鉄(株)



相談役
樋口 眞哉



理事
石俣 行人
日鉄エンジニアリング(株)



理事
大伏 勝也
住友商事(株)



理事
小野山 修平
日鉄テックスエンジニア(株)



理事
河瀬 博英
岡部(株)



理事
阪田 尚也
三井物産スチール(株)



理事
芝本 尚武
芝本産業(株)



理事
新城 晃
日鉄建材(株)



理事
鈴木 勝
五十鈴(株)



理事
高野 賢一
日本製鉄(株)



理事
谷 潤一
大阪製鉄(株)



理事
近松 幸士郎
日鉄ドラム(株)



理事
中田 貴之
三和実業(株)



理事
橋山 卓弘
協材興業(株)



理事
原田 浩
日鉄鋼板(株)



理事
福田 和久
山陽特殊製鋼(株)



理事
美濃部 慎次
合同製鉄(株)



理事
米澤 公敏
日鉄物流(株)



理事
渡邊 善之
(株)メタルワン



北海道支部長
村上 孝一郎
玉造(株)



東北支部長
高野 次郎
東開工業(株)



北陸支部長
今井 幹太
藤田金属(株)



千葉支部長
菅 千太郎
平和農産工業(株)



名古屋支部長
岡谷 健広
岡谷鋼機(株)



大阪支部長
木村 純
富士興業(株)



中国四国支部長
堀口 悟史
堀口海運(株)



九州支部長
自見 修真
自見産業(株)



常任理事
伊澤 昭則
(一社)機動隊員等を励ます会



監事
岩井 一弘
(株)三栄商會



監事
村上 裕
日鉄ケミカル&マテリアル(株)

北海道支部 事務局 今田 慎司(日本製鉄(株)北海道支社 上席主幹)
東北支部 事務局 生田 武(日本製鉄(株)東北支社 上席主幹)
北陸支部 事務局 田子 泉(藤田金属(株) 総務部 課長役)

千葉支部 事務局 遠藤 信太郎(平和農産工業(株) 次長)
名古屋支部 事務局 藤井 秀和(岡谷鋼機(株) 鉄鋼第一部 部長)
大阪支部 事務局 吉年 弘志(富士興業(株) 営業部長)

中国四国支部 事務局 須田 真史(日本製鉄(株) 中国自動車鋼板室長)
九州支部 事務局 真寺 圭介(日本製鉄(株) 九州支社 部長代理)

激励会

約300名が一堂に会し 隊員との親交を深める機会に

定時総会後に行われた激励会では、警察幹部のほか、警視庁の第一機動隊から第九機動隊、特科車両隊、関東管区機動隊に所属する機動隊員93名が参加。警察幹部や会員も合わせると、約280名の参加者が一堂に会した。

開会の挨拶に立った中村真一理事長は、機動隊が大阪・関西万博をはじめとした昨年度の重要警備事案を完遂したことに謝意を示すとともに、「集団警備力の維持向上を図り、今後とも国民の負託に応えるため、治安の最後の砦であるという誇りと自信を持って職務に邁進することをお願い申し上げます」と述べた。

来賓の楠芳伸警察庁長官は、「時代の変化とともに機動隊の任務はデモ警備のみならず、総理大臣官邸や国会などの重要施設の日常的な警戒警備をはじめ、災害時における被災者の救出救助などにも拡大してきた。本日は激励の機会をいただき、この場に参加している機動隊員にとって大きな励みになる」と感謝を伝えた。

筒井洋樹警視總監は、「2月に行われた衆議院議員総選挙のほか、9月にはアジア大会が予定されているなど、今年も機動隊員にとって重要な1年になると考えている。警備環境上、最も厳しく困難な現場で職責を果たすことを求められる機動隊が、治安の最後の砦としての職責と使命を果たしていく」と力強く語った。

乾杯の音頭をとった右田彰雄副理事長は、「機動隊員の皆さんが多岐



中村理事長



楠警察庁長官



筒井警視總監



右田副理事長



橋山前理事



大竹巡査部長

にわたる事態に的確に対処できるのは、常日頃から多様な事態を想定した研鑽を積み重ねているからだ」と理解している。私たち会員一同は、皆さんの日々のご尽力に心から感謝するとともに、引き続き支援をしていく」と述べた。

全員で乾杯をした後は懇親の時間となり、会場の各テーブルでは会員と機動隊員が和やかに会話を交わし、親交を深める姿が見られた。

警視庁第九機動隊の大竹祐輝巡査部長が機動隊員を代表して壇上に立ち、当会への感謝を述べた後は、全員で大きな輪になり、「この世を花にするために」を斉唱。27年にわたり理事を務め今回退任を迎えた橋山和生前理事が中締めを行い、「私たちの純粋な励ましの気持ちは、この場にいる隊員と警察トップの方々の心に必ず届いていると確信している」と述べ、万歳三唱を行い、激励会は盛会のうちに終了した。



壇上に整列する機動隊員



飲談する会員と隊員



「この世を花にするために」を斉唱



万歳三唱

警視庁機動隊観閲式

約1700名の隊員が 分列行進

去る5月20日、今年で創設78年となる警視庁機動隊観閲式が明治神宮外苑絵画館前にて行われた。当会からは中村理事長、樋口相談役、伊澤常任理事、土屋千葉支部副支部長が観覧した。

観閲式は筒井洋樹警視總監を観閲官、警備部長を総指揮官とし、機動隊員約1700名が参加した。機動隊全10隊の制服部隊、出動服部隊に加え、女性警察官機動隊や化学防護部隊、遊撃捜査二輪部隊などが分列行進。特殊救助隊の水陸両用車など車両75台や警備犬6頭も行進し、航空隊によるヘリ3機の編隊飛行が披露された。

筒井警視總監は訓示で、「諸君には警視庁機動隊の歴史のなかで育まれてきた良き伝統を次代に受け継ぐ担い手としての自覚と気概を持ち、今後も都民・国民の安全確保のため、一層力を尽くしていただきたい。そのためには、社会情勢の変化にも柔軟に対応し、いかなる事態にも動じることなく、自信を持って警備にあたること

のできる確固たる実力を備えることが不可欠である。あらゆる事態を想定し、部隊の団結のもと、一人ひとりの隊員が不断の努力を積み重ね、強く優しく柔らかない警視庁を体現することを期待する」と述べた。



化学防護部隊



筒井警視總監



出動服部隊



遊撃捜査二輪部隊

ゴールデンウィーク警備

週末と祝日の並びが良く、海外旅行者数が前年を上回る活況を呈した今年のゴールデンウィーク。機動隊員等は行楽客で賑わうイベント会場や空港など各地で警戒警備等の任務を遂行した。

福岡県警察機動隊

「博多どんたく港まつり」は5月3・4日の2日間行われ、昨年より20万人少ない、のべ約215万人（主催者発表）が見物に訪れた。期間中、機動隊員等は雑踏警備広報やテロ警戒を実施し、無事に任務を完遂した。

成田国際空港警備隊

4月29日～5月10日の成田国際空港の出入国者数は111万6290人で、前年の同時期より1%減少した（東京出入国在留管理局／5月19日発表）。海外に出国した日本人は前年比110.2%となる17万3280人、混雑のピークは出国が5月1日、入国が5月10日だった。成田国際空港警備隊員による警戒警備により大きなトラブルは発生しなかった。



パレードコース沿道における雑踏警備広報（福岡）



第二ターミナルビルでの警戒状況（成田）

男性、女性それぞれの特徴も生かした仕事ができるよう努めたい ～宮崎第一機動隊長へのインタビュー～



3月9日付けで第一機動隊長に 女性として初めて宮崎眞由美さんが着任しました。

第一機動隊の任務は、総理官邸などの国家中枢に関わる重要施設の警備、治安警備や雑踏警備、爆発物や銃器のテロ対策と多岐にわたり、不審者やテロリスト、過激派の襲撃などを未然に防ぐという極めて重大な役割を担っています。それゆえ緊張感が高く、少しの油断も許されない大変厳しい現場であり、徹底した規律重視と精鋭部隊としての自負があると言われます。宮崎さんにお話を聞いてみました。(常任理事 伊澤)

【伊澤】宮崎さんと言えば、女性で初めての第五機動隊副隊長を務められ、第九機動隊長、そして今回、女性で初めての第一機動隊長と、女性として機動隊でのキャリアを積まれています。

【宮崎】警察もそうなのですが、機動隊はより男性の職場というイメージが強いと思います。歴史と伝統のある警視庁機動隊は、昭和の時代から武闘の現場で男性隊員たちが歴史を紡いできました。初めて機動隊に女性小隊長以下の隊員が登場するのが平成6年、その後平成25年第五機動隊副隊長に着任し、翌年中隊長に女性警部が就きました。令和5年に第九機動隊の隊長をさせていただいて、今に至ります。初代の小隊長さんに話を伺う機会があったのですが、警備の現場にポンと入って、経験と実績がない中で、自分たちがやるべきことをすごく探していたし、私たちに何が求められているのだろうと随分考えたとおっしゃっていました。これまでの先輩たちが本当に頑張って頑張って頑張って、少数だから、やれることは限られていたと思いますが、それを一つずつ積み重ねて、男性の隊員とそんな色なく仕事ができる環境を積み上げてくれたことが、今の女性隊員たちの活躍に繋がっているのだと思います。男性の隊員たちの思いも当然だけれども、女性の隊員たちのその大変な苦労というのもしんどく両方汲み取ったうえで仕事ができればいいなと常々思っています。多分、他の男性の隊長さんたちよりはちょっとだけ女性隊員に寄り添って、男性、女性それぞれの特徴も生かした仕事ができるよう努めていきたいと思っています。そして、これから女性警察官、女性機動隊員もますます活躍の場が広がっていくことを期待しています。

【伊澤】これまでのキャリアで心に残るものを教えてください。

【宮崎】警備部で携わらせてもらった仕事は、どれも思い入れがあります。警衛課では皇族方の警衛に従事させていただきました。警備第一課の危機管理室では、テロ対策パートナーシップ推進会議や地域の皆さんと各署が連携する地域版パートナーシップの立ち上げをさせていただきました。警備第二課では、警備対策の重要性や訓練、装備資機材など警備実施に欠くことのできない仕事に携わりました。特に心に残っているのは、東京オリンピックの招致とオリンピック競技大会警備です。石原都知事の

時、2016年の大会招致に東京都が手を挙げたのですが、その時がスタートで、その後、東京2020大会が決まった時には警察庁で警備実施に向けて仕事をさせていただきました。開催が2021年に1年延期になったことから、警衛課で大会警備に携わりました。選手の安全と観客の雑踏事故防止という観点から計画を立案してきましたが、実際にはコロナ禍のもとでの開催となり、当初思い描いていた大会とは全く別の形での実施になってしまいましたが、パラリンピック競技大会も含めて閉会式まで無事に終えた時には、本当に安堵したことを今でも思い出します。

【伊澤】最後に第一機動隊長としての抱負を聞かせてください。

【宮崎】機動隊の歴史と伝統を未来にきちんとつなげていくことです。今現在もいずれは過去になって、歴史の1ページになります。一機隊員だけでなく、警視庁機動隊員が士気高く、崇高な使命感を持ち、守るものを守り切る強い信念を持って毎日の警備に従事して、警備完遂という実績を作り、結果、首都東京の治安維持を未来にしっかりと引き継いでいくことが仕事だと思っています。

それから機動隊員を目指す警察官がもっと増えればと思います。機動隊は酷暑でも極寒でも求められた任務を部隊で完遂します。例えば重要防護施設の警戒警備ではいつ狙われるかわからない状況に瞬時に対応するために、厳然とした姿でひたむきに活動することは厳しい反面、隊員が持つ治安の砦、治安の鎮めとしての自覚と誇りと齊一な部隊活動がもたらす一体感など、機動隊ならではの達成感と充実感を知ってもらおうと同時に、隊員から意見を吸い上げ、機動隊の改革にも積極的に取り組んでいることも、発信して、これからの未来を作る若い人に機動隊の魅力を伝えていかなければと考えています。



会食で差がつく日本酒の教養



●5月21日のゲスト.....

や な ば ゆ か り
築場 友何里氏

・株式会社SAKE Scene
SAKE Scene 〆福(ますふく)
代表取締役

PROFILE

- ・フォワーダーにて3年、輸入航空貨物の手配に携わる
- ・ドイツ系メーカーの購買部にてドイツ、中国などからの海上、航空を担当
- ・2016年に外資系メーカーから転身し、日本酒の魅力を世界へ広める事業を開始
- ・大門・浜松町で日本酒と発酵フレンチのマリアージュの店「SAKE Scene 〆福」を開店

- ・株式会社SAKE Sceneを設立し、海外への日本酒PRと日本酒輸出事業を開始

【取得資格】

- ・WSET Level 3 award in SAKE
- ・日本ソムリエ協会認定SAKE DIPLOMA
- ・国際唎酒師SSA認定Certified Sake Sommelier, Introductory sake professional講師
- ・日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート

若者を中心とした「お酒離れ」が喧伝されるなか、海外では日本酒人気が高まっているという。東京の大門・浜松町で経営する日本酒と発酵フレンチのマリアージュの店「SAKE Scene 〆福」で日々、日本酒の魅力を広める一方、海外への日本酒輸出にも積極的に取り組んでいる築場友何里氏にお話をいただいた。

1.日本酒の基本情報

2024年12月に「伝統的造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、日本の文化として日本酒の再評価が進んでいます。会食や接待の場で「日本らしさ」を自然に表現できることや、和洋問わず料理に合わせやすい懐の深さなどが、日本酒の魅力として再認識されているところだと思います。

日本酒は米と米麹、水を主原料とする、米麹による糖化を前提とした発酵飲料です。糖分がアルコールに変わることによって発酵を促して日本酒になります。日本酒は必ずこさなければなりません。こしてないものが「どぶろく」ですね。アルコール度数は意外と高く、22度までは清酒と呼べます。日本酒と呼べるのは原料に日本産の米を使い、日本国内で醸造されたものに限られ、海外で造られたものは「SAKE」と言います。日本酒は旨味が白ワインの6倍あり、温めると旨味が甘味に変わり美味しくなるという作用があるので、美味しく飲むために温めることができる世界で唯一のアルコール飲料と言えます。

日本酒には主に酒米が使われます。一番有名なのが、奥行きのある芳醇な味わいを楽しめて長期熟成にも向く兵庫県の「山田錦」。他にもふくよかで華のある味わいが特長の「雄町」(岡山県)や、淡麗かつデリケートな味わいの「美山錦」(長野県)、

繊細で透き通るような味わいの「亀の尾」(山形県)などが代表的な酒米になります。昨今の米価高騰の影響で酒米からより高い飯米に転作してしまう農家もあり、米の調達が難しい蔵もあるのが現状です。

日本酒には特定名称酒と呼ばれる分類があり、よく聞くのが純米大吟醸酒だと思います。精米歩合が50%以下になりますが、最近では一桁台のものを使うプレミアム純米大吟醸酒もあつたりします。私のおすすめは60%以下の純米吟醸酒。単体でも楽しめ、料理にも合わせやすいです。

2.日本酒の造り方

日本酒造りは精米から始まります。そして、削ったお米を洗い、水に浸けた後に蒸します。昔は炊いたご飯を使っていたのですが、蒸したほうが麹菌が入りやすいので蒸米を使用します。パウダー状の黄麹を蒸した米に混ぜ、温度や湿度を管理しながら繁殖させる製麹(せいぎく)の作業を経て、酒母造りとなります。酒母は「酴(もと)」とも呼ばれる、日本酒造りのベースとなる液体です。温めるとどんどん活性して泡がブクブク出てきて、傍にいとすとすごくいい香りがしてきます。この酒母を造った後に、大きいタンクで仕込み＝醪(もろみ)造りをします。一気にタンクに移さず、発酵の様子を見ながら3回に分け、3日くらいかけて移していくというやり方で、それが三段仕込み

と呼ばれるものです。

その後に搾りを行って液体と酒粕に分け、液体をボトリングしてラベルを貼るまでが基本的な日本酒造りの流れになります。目指す酒質によって変わりますが、酒母造りに2週間、醸造りに1ヶ月くらいかかるでしょうか。9月の終わりに米の収穫があり、10月の初めから日本酒を造り出し、11月中旬に新酒が出てくるというイメージです。

酵母については、日本醸造協会が頒布している「きょうかい酵母」というものを各蔵元が買っています。酵母によって香りが左右されます。例えばバナナっぽい香りだったり、リンゴのような香りだったりなどです。蔵元は「どう発酵させたいか」によって酵母を選んでいきます。スーパーなどで売られている板状の板粕をはじめ、酒粕にもいろいろあります。酒粕はコラーゲンやビタミンAとCなど栄養価が高く、美肌効果があり、お肌にも腸にも良いだけでなく、食べても美味しいので注目していきたい素材です。食材というより汎用性があるので、私は素材だと思っていて、自社ブランドによるコスメの商品化など酒粕ビジネスも始めています。

瓶詰めして出荷する前に、瓶ごと約65度のお湯に浸けて加熱殺菌する作業が火入れです。酵素を失活させ、日本酒を美味しい状態にキープして輸送や保存に向くように仕上げる作業ですが、最近はデリバリーシステムもよくなり、一度も火入れをしない「生酒(なまぎけ)」が人気です。

アクティブな酒蔵は現在、全国に1100ほどありますが、見学ツアーを設けているのは大手の蔵のみになります。どうしても行きたい蔵がある場合は、酒屋さんを通して予約するのもありかと思います。朝食に納豆やヨーグルトを食べない、動きやすい服装で行くなどが酒蔵訪問の際の主な注意点です。実際に自分の目で酒蔵周辺の環境も見えて知ること、さらにお酒を美味しく感じられるようになると思います。

3. 折りと共にある日本酒

日本酒は神様に捧げるお酒として、神社にお詣りする際や結婚式、お葬式での献

杯など、日本人の生活の要所において用いられてきました。日本酒を飲むことで神様と同じお酒をシェアし、体を浄化するという文化ですね。

日本酒の最古の履歴として庭酒というのがあります。兵庫県にある庭田神社で8世紀頃、炊いたご飯を神様にお供えし、それが乾いてきたので水につけて食べようとした時に、自然の酵母がご飯に舞い降りてきていたことで、ふやかした時の水が酸っぱくなり、それをもとに造ったものが

庭酒です。また、京都にある松尾大社は酒造りの神様として知られていて、杜氏さんたちは仕込み前にお詣りに行くそうです。

4. 海外で広がる日本酒の魅力

現在、国外の酒蔵は100蔵ほどに増えていて、それぞれの土地柄を出しながら造ったクラフトSAKEをワインボトルに詰めて売っています。日本酒の魅力が海外で広まるなか、外国人のプロに日本酒についてしっかりと伝えなければ、国外の日本酒造りが歪んでしまうという危機感から、外国人向けに1週間にわたる日本酒と焼酎の集中講座を開いています。日本の酒蔵をまとめている日本酒造組合中央会が主催するプログラムですが、かなり人気が高く、私も毎年お手伝いをさせていただいています。また、パリではソムリエが中心となり、「Kura Master」という日本酒コンテストが開催されています。店のワインリストを決めるのはソムリエなので、このコンテストを通して日本酒がより入りやすくなりました。パリで認められた日本酒という受賞歴は、中華系の市場にもかなり影響を与えています。

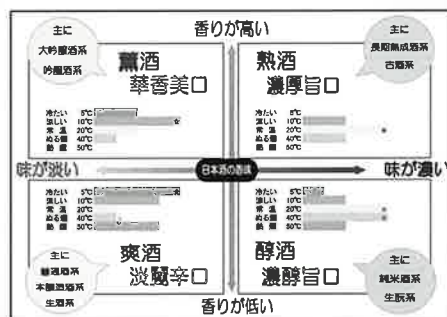
日本酒の輸出の現状（2025年度）

- 輸出総額：459億円（前年比106%）
- 輸出量：3.35万kl（前年比108%）
- 2年連続で過去最高を更新
- 輸出国数は81か国に拡大
- アメリカ、中国、香港で65%の輸出量を占める
- 韓国も増えてきている

図表1 日本酒の輸出の現状

日本酒のタイプ

日本酒のボディも意識してみる



図表2 日本酒のタイプ

2025年度の日本酒輸出の状況を見ると、アメリカ、中国、香港で特に人気が高く、韓国も増えていて、輸出国数は81ヶ国まで拡大しています(図表1)。弊社ではシンガポールを中心に、フランスにも輸出をしていますが、中華系は受賞歴に加えて銘柄の漢字も重要です。漢字が読める国の人たちは漢字の意味も大事にするので、美味しくても漢字にネガティブな意味合いが入っていると売れません。フランスはとにかくペアリング重視なので、複雑性やインパクトのあるものが人気です。また、ラベルに描かれた漫画は子どもじみたものとして敬遠されるので、フランスでは高級感があるほうが売りやすいことも分かりました。

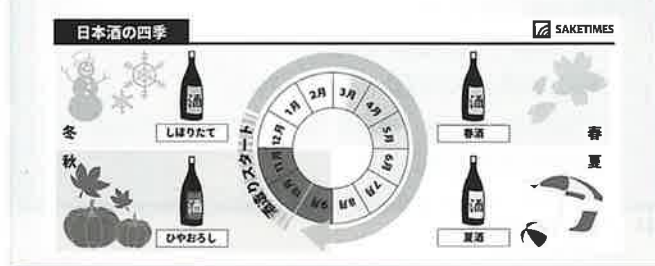
インバウンド需要も高いですね。同じ発酵食品であるチーズとの相性の良さに驚いたり、同じお酒を冷酒と燗で飲み比べて燗酒の美味しさに感動したりする外国人が多いです。

5. 日本酒のタイプと楽しみ方

日本酒には淡麗辛口の爽酒をはじめ、薫酒、熟酒、醇酒など様々なタイプがありますが(図表2)、米が原料なのでいろんな

季節の日本酒の楽しみ方

米の収穫後、10月初旬頃から4月下旬がGW頃まで酒造り



図表3 季節の日本酒の楽しみ方

お食事に合わせやすく、ペアリングもそれほど難しくはないという点では、ワインよりも手軽だと思います。温度帯やライトとフルなどのボディを合わせるのもペアリングのポイントです。

日本酒で季節を感じるというのも面白く、いまなら早速、夏酒が出てきているので(図表3)、会食では例えば「季節らしい一杯をお願いします」と頼んでみてはいか

あると思います。それとやはり燗酒ですね。冷房が効いている部屋で、ぜひ飲んでみてください。

会食での日本酒選びの要点は、季節・料理・温度の3点です。洋食やチーズともまずは一度合わせてみると楽しみも広がります。難しく考えず、会話を豊かにするツールとして日本酒を使っていたいただけたらと思います。

がでしょうか。また、多くの方が辛口の日本酒が好きと言いますが、意外とそうではない場合も多いです。そういう意味ではオーダー時に「辛口以外の日本酒も飲んでみたい」と言うと、選ぶほうが本気を出すので意外な発見が

講演後質疑応答

Q フランスワインのようにエチケツト(ラベル)に記載する格付けなどの情報を、日本酒でも統一する動きはありますか。

A 日本酒のラベルに記載しなければならぬ情報は、「清酒」または「日本酒」と表示される酒類の品目やアルコール度数、製造元など非常にシンプルですが、その他は蔵元が自由に記載できるといことで、分かりにくくなっているところがあります。そもそも日本酒は同じ銘柄であっても毎年味が異なります。複雑な工程に加え、水も米の質も酵母も気候も作り手も年ごとに違うので、毎年安定した同じ味わいを造ることはほぼ不可能です。アルコール度数も発酵が進んでいくうちに高くなるなど、安定しないが故に記載が難しいという面もあります。

今月の賛助広告会員

株式会社 辻さく

堀口海運株式会社

NIPPON STEEL
山陽特殊製鋼株式会社

岡田運輸株式会社

大阪製鐵株式会社

日鉄エンジニアリング

日鉄物産

岡部株式会社

岡谷鋼機

NIPPON STEEL
日鉄建材株式会社

平和農産工業株式会社

株式会社 メタルワン

SANWA
三和運輸機工株式会社

株式会社ワークス

合同製鐵株式会社
GODO STEEL, LTD.

素材を極め、未来を拓く
ChemMat
日鉄ケミカル&マテリアル

玉造株式会社

S 芝本産業株式会社

NIPPON STEEL
日鉄ドラム株式会社

明鋼材株式会社

草野産業株式会社
Kusano Co., Ltd.

NIPPON STEEL
日鉄物流株式会社

株式会社 エステック

日本製鉄(株) 中部支社

NCT 新ケミカル商事

いつでも、どこでも、あたらしい
五十鈴株式会社

編集後記

6月3日の定時総会・本部激励会は台風6号の接近で、当日午後に最終的に開催が決定されました。それまでドキドキの1週間でした。6月の台風上陸は2012年以来14年ぶり、過去4番目に早いということですが、早くも激甚化する風水害への備えが必要になってきました。

はげまし
No.598
令和8年7月号

発行日 令和8年7月3日
発行所 一般社団法人機動隊員等を励ます会
発行人 中村真一

事務局 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館
TEL.03-5614-0710 FAX.03-5614-0719
Web: http://www.hagemashi.com
Mail: jimukyoku@hagemashi.com